

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	松本市					
代表者名	氏名	臥雲 義尚	役職名	市長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市丸の内3番7号					
主たる事業の分類	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）				
	中分類	98 地方公務				
主たる事業の概要	地方公共団体（市）が行う事務事業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	12891	12388	12878	12522	12328
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	27589	26513	27596	26738	26317
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0
自動車の台数	台	498	498	503	501	508
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	984	946	946	858	797

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

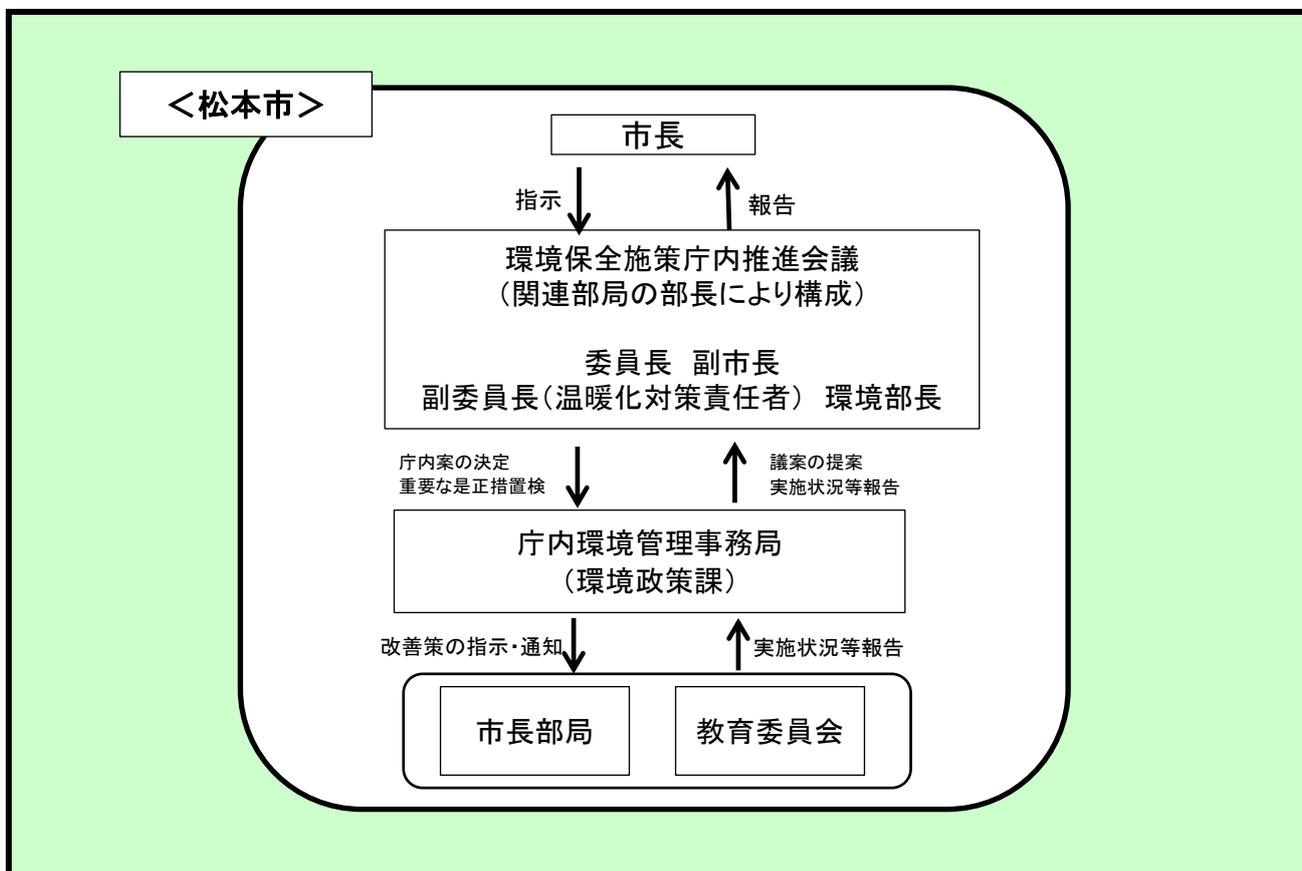
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	<a href="http://www.city.matsumoto.nagano.jp/shisei/kankyojoho/earth/index.html">http://www.city.matsumoto.nagano.jp/shisei/kankyojoho/earth/index.html</a>
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

松本市は、行政機関であるとともに市内の大規模事業場の一つでもあります。このため、地方公共団体実行計画（事務事業編）に位置付けている、「松本市役所エコオフィスプラン（平成28年度策定）」に沿った温室効果ガス排出抑制のための市の取組みを積極的に推進します。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境保全施策庁内推進会議(年2回程度)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	27,589	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
28年度	調整後排出量	27,436	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	26,513	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
31年度	目標削減率	3.90	%	目標削減率	3.90	%		3.9
目標設定に関する説明	平成28年度に「松本市役所エコオフィスプラン」を策定し、平成32年度における温室効果ガスの排出量を平成22年度比で13%削減(年1.3%削減)することを目標とした。また、梓水苑、上高地アルペンホテル及び徳沢ロッジの3施設も対象であることが分かったため、基準年度に遡り、3施設分の排出量を基準排出量に含める。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	27,596	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	27,405	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
29年度	削減率	(0.03)	%	削減率		%		-0.3
排出量等の増減理由	大きな省エネ対策を実施していないため、とくに大きな増減は見られなかった。							
第二年度	排出量	26,738	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	26,588	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
30年度	削減率	3.08	%	削減率		%		3.3
排出量等の増減理由	冬期の暖冬により暖房の利用が減り、エネルギー使用量の減少となった。							
第三年度	排出量	26,317	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	26,131	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
31年度	削減率	4.61	%	削減率		%		4.2
目標の達成状況及び排出量の増減理由	冬期の暖冬により暖房の利用が減り、エネルギー使用量の減少となった。							

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	984	t-CO <sub>2</sub>			
28年度						
目標年度	目標排出量	945.6	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.9	%
31年度						
目標設定に関する説明	平成28年度に「松本市役所エコオフィスプラン」を策定し、平成32年度における温室効果ガスの排出量を平成22年度比で13%削減(年1.3%削減)することを目標とした。					
第一年度	排出量	946	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.86	%
29年度						
排出量等の増減理由	昨年度と車両台数にほぼ変化がないが、排出量に減少がみられたのは、エコドライブに心がける職員が増えたためと思われる。					
第二年度	排出量	858	t-CO <sub>2</sub>	削減率	12.8	%
30年度						
排出量等の増減理由	冬期の暖冬により暖気や車両運転時の暖房の稼働が減り、燃料の使用が少なかったと思われる。					
第三年度	排出量	797	t-CO <sub>2</sub>	削減率	19	%
31年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	7月の冷夏による冷房の使用料減少及び冬期の暖冬により暖気や車両運転時の暖房の稼働が減り、燃料の使用が少なかったと思われる。					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握	実施中	第一年度	実施中	実施中	実施中	
	2	エコドライブの励行	実施中	第一年度	実施中	実施中	実施中	
III、IV	—	次世代自動車の導入	未実施	実施しない	未実施	実施中	実施中	現在目標台数に達しているため

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	170302 太陽光発電システムの導入	H29	12	H29	12
2	エネ起	170302 太陽光発電システムの導入	H30	12	H30	12
3	エネ起	170302 太陽光発電システムの導入	H31	12		
4	エネ起	110102 人材育成及び省エネルギー教育	H29		H29	
5	エネ起	110102 人材育成及び省エネルギー教育	H30		H30	
6	エネ起	110102 人材育成及び省エネルギー教育	H31		H31	
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW	1166	60	1196	1226	1262
バイオマス熱利用設備 (ペレットストーブ)	kW	77.67	0	77.67	77.67	77.67
バイオマス熱利用設備 (消化ガス)	kW	695	0	695	695	695
コージェネレーション設 備	kW	470	0	470	470	470
小水力発電設備	kW	0	150	0	0	74

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度によ り創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	153		191	150	186
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	556	27,589	556	27,596	556	26,738	556	26,317
合計	556	27,589	556	27,596	556	26,738	556	26,317

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	11	11	11	11
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	0
合計	11	11	11	11
自動車総数	498	503	501	508
次世代車導入割合	2.2	2.2	2.2	2.2

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率を把握している。H28-52.6% (5月1日現在)
公共交通機関の利用促進	自宅からの通勤距離が5km未満、もしくは最寄りのバス停や駅までの距離が2km未満の職員は原則として徒歩、自転車、公共交通機関を利用するものとしている。
来客者の交通対策	市のイベント開催時にはパークアンドライドや臨時シャトルバスの運行を行った。
物流の合理化	該当せず

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	各施設のエネルギー使用量を四半期ごとに把握し、定期的に状況及び目標値を施設管理者ごとに通知している。
第一年度実績	各施設のエネルギー使用量を四半期ごとに把握し、定期的に状況及び目標値を施設管理者ごとに通知した。
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設のエネルギー使用量を四半期ごとに把握し、定期的に状況及び目標値を施設管理者ごとに通知した。</li> <li>・上記報告と同時にグリーン購入実績も報告を受け、グリーン購入率を各課へ周知し、更なるグリーン購入の推進を普及している。</li> <li>・本庁舎、東庁舎、大手事務所において緑のカーテンを設置</li> <li>・温暖化対策普及啓発イベント「キャンドルナイトin松本」や「打ち水大作戦」を民間団体の「松本市地球温暖化防止活動市民ネットワーク」が主催し、松本市は共催や参加事業者として参加し、市民及び職員に対する温暖化対策の普及啓発に取り組んでいる。</li> <li>・毎年夏と冬に「節電強化期間」を実施し、冷房28℃、暖房18℃設定の徹底及びクールビズやフォームビズの励行に取り組んでいる。</li> </ul>

第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設のエネルギー使用量を四半期ごとに把握し、定期的に状況及び目標値を施設管理者ごとに通知した。</li> <li>・上記報告と同時にグリーン購入実績も報告を受け、グリーン購入率を各課へ周知し、更なるグリーン購入の推進を普及している。</li> <li>・本庁舎、東庁舎、大手事務所において緑のカーテンを設置</li> <li>・温暖化対策普及啓発イベント「キャンドルナイトin松本」や「打ち水大作戦」を民間団体の「松本市地球温暖化防止活動市民ネットワーク」が主催し、松本市は共催や参加事業者として参加し、市民及び職員に対する温暖化対策の普及啓発に取り組んでいる。</li> <li>・毎年夏と冬に「節電強化期間」を実施し、冷房28℃、暖房18℃設定の徹底及びクールビズやフォームビズの励行に取り組んでいる。</li> <li>・省エネ化や再エネ導入に関する全庁的な統一基準として、「松本市環境配慮型公共施設整備指針」を策定し、令和2年度から本格的な運用をする。</li> </ul>
--------	--

#### 18 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO <sub>2</sub> )
基準年度 以前の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮渕浄化センターにおいて、平成27年度に消化ガス発電設備の増設工事に着手し、平成28年度に竣工</li> <li>・両島浄化センターにおいて、平成25年度に消化ガスを改質して水素を発生させ、燃料電池方式による発電設備工事に着手し、平成27年2月から運用を開始（全量売電）</li> </ul>	4,000
そ の 他		